

# すわみつえ通信

No.135 2020年8月3日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7  
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151  
携帯: 080-5039-2785  
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp  
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

92歳のしんぶん赤旗を  
あなたも是非!

しんぶん赤旗で繋がる縁

「しんぶん赤旗」は1928年2月1日の創刊以来、日本共産党の中央機関紙というだけでなく、平和と社会進歩を願う人々の共同の新聞として歴史を刻んできました。

戦争反対・国民主権・生活擁護の立場を貫いてきました。タブーなく真実を伝え、国民の利益を守る新聞です。私は、すわみつえ通信をお読みいただいている皆さんに「しんぶん赤旗」をご購読いただけるよう、地域の後援会の皆さんと活動をしております。

「GOTOトラベル」でなく  
GOTO PCR! ですよ

訪問し、お話しを伺った「GOTOトラベル」ではなく「GOTO PCR」でしょ。政府はしっかり感染防止対策を立ててほしい。お客さんは半分か戻っていない(飲食店)など、政府の無策に対する怒りや生活・営業への不安の声が聞かれます。

国政から地域の問題解決に「しんぶん赤旗」を通じて皆さんと繋がっているとします。まだ、お読みいただいている方は是非この機会にご購読いただけますようお願い致します。



剪定前

剪定後

「北鴻巣駅前どうなっているの?」読者さんからご連絡いただきました。長い梅雨で進まなかった除草と剪定ですが、徐々にきれいになります。もうしばらくお待ちください。

雨でできなかった除草等  
がやっと進みました

外出を控え、手仕事に励んでいるというすわみつえ通信読者の方から手作りのエコバックをいただきました。使ったのがもったいないくらい素敵。



手作りエコバック

通信読者の方から手作り  
エコバックいただきました

埼玉県央広域事務組合  
議会7月定例会にて

7月29日(木)、鴻巣・桶川・北本の3市が構成し、斎場と消防業務を行う一部事務組合の議会が開催されました。すわみつえ市議は鴻巣選出の構成議員として出席しました。

提案議案は、①救急搬送等職員の防疫作業手当支給のための条例改定、②16年経過し、更新となる水槽付消防ポンプ自動車の購入(桶川西分署配備)、③補正予算の3議案です。審議のうえ全員賛成で可決しました。

私の一般質問は「新型コロナウイルス感染症対策下における斎場業務について」で、「コロナ禍での斎場の利用状況と感染対策を取り上げました」。

今年4月から6月までの3カ月間の火葬件数は644件で前年度と比較して、56件の増加であったこと。万全な対策で業務を行ったことが答弁されました。消毒液・マスクなどの備品調達の補正予算がとられなかったことから、今後の課題として提案しました。

俳句コーナー

教え子のおしゃれマスクと  
共に出る

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口



帰るべきか、帰らざるべきか。新型コロナウイルス感染の急拡大に、振り子のように揺れています。母、85歳。故郷で1人暮らし。留守番電話には、東京にいるわが子を案じる声が残されていました▼お盆を前に、同じように悩んでいる人はいるのではないのでしょうか。自分が無症状の感染者かもしれない、という不安をめぐうのは、PCR検査にほかなりません。せめて自分の住む自治体の陽性率のデータがほしい。切実にそう願います▼そんな中、「世界で159位」という数字に衝撃を受けました。共産党の志位和夫委員長が安倍晋三首相宛ての緊急申し入れで示した「日本のPCR検査の人口比での実施数」(7月28日現在)です。1日現在の最新データで157位に上がったとはいえ、世界第3位の経済力を持つ国の数字とは、とても思えません▼東京都医師会の会見では、SNSに「国の無策の中、感染者が増えるのは我慢できない」と投稿した尾崎治夫会長が「ぜひ国会を開いて議論していただきたい」と語気を強めました。ここでも訴えるのは、PCR検査の拡充です▼尾崎会長は本紙日曜版8月2日号にも登場。流行地域全体でPCR検査を行い、補償と一体の休業要請に踏み切ることを主張します。「経済効率優先では医療を担う人を育てることはできません。やはり新自由主義ではダメです」とも▼この緊急時に国会を開かず、記者会見もせず、ダンマリを決め込む安倍首相。いつまで“巣ごもり”を続けるつもりなのでしょう。

日本国憲法 第53条 [臨時会]

内閣は、国会の臨時会の招集を決定することができる。いずれかの議院の総議員の四分の一以上の要求があれば、内閣は、その招集を決定しなければならない。

\*臨時会は、臨時国会とも呼ばれるもので、必要に応じて臨時に招集される国会のことです。

## 臨時国会召集へ要求書

# 野党「国民の苦難に応えよ」

しんぶん赤旗 8月1日付



衆院議長に提出

日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社会保障を立て直す国民会議、社民党の野党5党派は31日、憲法53条に基づく臨時国会召集要求書を大島理森衆院議長に提出しました。

相が閉会中審査にも出席せず、国民への説明責任を果たしていないとして「国会を開かないのは政府の怠慢だ。国会を開いてきちんとさまざまな角度から質疑をする場をつくってもらいたい」と述べました。

日本共産党の穀田恵二国

ともに、与党側にも受け止めるを聞く」と応じました。

憲法53条は、衆参いずれかの総議員の4分の1以上が要求すれば、内閣は臨時国会の召集を決定しなければならぬと規定。しかし安倍政権は、2015年、17年に同条にもとづく野党

大島議長に対して、立憲民主党の安住淳国対委員長は、通常国会が閉会した6月17日以降、新型コロナウイルスの感染拡大が起きているにもかかわらず、安倍晋三首相

対委員長は「新型コロナウイルスの感染拡大、豪雨災害など、国民の命と安全が脅かされている。この国民の苦難に心えていくためにも国会を開くことが求められてい

の召集要求に応じませんでした。

那覇地裁は6月、憲法53条に基づく臨時国会召集は「憲法上明文をもって規定された法的義務」と判示。

大島理森議長（右から4人目）に臨時国会開会を申し入れる野党国対委員長ら。右端は殺田恵二国対委員長。31日、国会内

大島議長は「国民の負託に応えるために、速やかに要求書を内閣に送付すると」

召集時期について内閣に認められる「裁量の余地は極めて乏しい」と指摘しています。

## 太陽光パネルの脇でせつせと “働く”7匹のヤギ



液化石油ガス（ＬＰＧ）販売大手のチョープロが長崎市柿泊町に設置している大規模太陽光発電所。現地を訪ねると、太陽光パネルの脇で７匹のヤギがせっせと“仕事”に励んでいた。

彼らの任務は敷地内の草を食べること。担当者によると、2年前から飼育を始め、仕事ぶりは問題なし。成長の様子は写真に収め全社員間で共有しており、社内の「アイドル的存在」になっているとか。

柔らかい草を好むヤギにとって、草が次々に生えてくる梅雨時期はごちそうだらけ。満腹になったのか、カメラを向けると満足げにカメラ目線する。

【長崎新聞 7月27日付】

【長崎新聞 7月27日付】